

## 平成 27 年度岡崎市食育推進会議 会議録

開催日時 平成 27 年 10 月 20 日（火） 午後 1 時 30 分～2 時 30 分

開催場所 岡崎市役所東庁舎 2 階大会議室

出席及び欠席者 出席 12 名 欠席 6 名（委任状提出者 4 名）

関係者 安藤 学氏（愛知県西三河農林水産事務所農政課）

事務局 鈴木司朗（保健部長）、片岡博喜（保健所長）、  
小幡実（健康増進課長）、小林哲夫（健康増進課副主幹）、  
川合弘晃（健康増進課主査）、桑原純子（健康増進課主査）

傍聴者 なし

### 会議次第

1 辞令交付

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 次期「愛知県食育推進計画」の作成について【愛知県農林水産部】

(2) 第 2 次岡崎市食育推進計画について

(3) 各課及び関係団体・企業の食育の取組み状況について

4 議題

(1) 食育推進体制の見直しについて

(2) 第 3 次岡崎市食育推進計画の策定について

(3) 岡崎市制 100 周年記念事業「食育メッセ」の開催について

5 その他

### [会議資料]

資料 1 次期「愛知県食育推進計画」の作成について

資料 2 各課等における食育（食の安全・安心を含む）の取組み状況

資料 3 食育取組調査表（団体）

資料 4 食育取組調査表（企業）

資料 5 食育推進体制の見直し案

資料 6 食育推進関係年表

資料 7 岡崎市食育推進会議専門委員の設置について

資料 8 第 3 次岡崎市食育推進計画の策定について

第 2 次岡崎市食育推進計画概要版

食育メッセ 2016 チラシ

岡崎市食育推進会議条例

食育基本法

## 議事要旨

### 1 辞令交付

代表して、早川委員に市長より辞令を交付

### 2 あいさつ（市長）

本日は、大変お忙しい中、平成 27 年度岡崎市食育推進会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。日頃から、本市の行政推進に格別のご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

このたびの委員の改選に伴い、本日から 2 年間の任期でございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本市では、市民の皆さんが命と健康の基本である「食」についての意識を高め、健やかで心豊かな生活が送れるよう、食育の推進に取り組んでいるところでございます。

現在の第 2 次岡崎市食育推進計画におきましては、「食育は、自らを育む“ひとつづくり”」を基本理念に掲げ、これを実現するため、目指すべき姿として、市民の皆さんが、自ら食育を「学び」「教え」「協力し」実践することとしておりまして、市民の皆さん一人ひとりの食育の実践を関係者が支援し、協働することで、より効果的な取組に繋げることを基本的な方針として、様々な取組が実施されてきたところであります。

来年平成 28 年は、市制施行 100 周年を迎える訳でありますけど、7 月 1 日の市制記念日、それに続く、7 月 2 日、3 日は岡崎中央総合公園を会場といたしまして、おかざき 100 年祭と共に「食育メッセ」の開催を予定しております。

第 2 次岡崎市食育推進計画の最終年度にもあたりますことから、その集大成として、市民の皆様、団体、企業の皆様と協働した食育の実践型のイベントとなり、岡崎のシティプロモーション、岡崎ルネサンスとしても位置付けられるような盛大なイベントとすべく、委員の皆様方の御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、本日は、食育推進に関わります重要な議題の御協議をお願いしております。活発なご意見を賜ります様、お願い申し上げます。あいさつと代えさせていただきます。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

### 3 報告事項

(1) 次期「愛知県食育推進計画」の作成について

愛知県西三河農林水産事務所農政課 安藤 学氏より説明

(2) 第 2 次岡崎市食育推進計画について

(3) 各課及び関係団体・企業の食育の取組み状況について

事務局より説明

[質疑・応答等]

(委員)

資料4の食育取組表(企業)で市内はわかるが②、③の「伊那食品工業」が市外であり浮いている気がする。また26年度の事業であるが、市内でももう少し違った形で食育とやってやっていると、実はしっかりいろいろな取組をしていても食育だと思っていなくても、重要な食育だという企業もあると思う。27年度はもう少し幅広く企業の食育の取組みの調査をやっていただきたい。

(事務局)

「伊那食品工業」については市と協力して協働事業という形で取組みを行っている。そこで食育状況についてアンケートをさせていただき記載した。市内の他の企業の取組み状況は、現段階では一部にとどまっているが、今後は資料で説明したように健康づくりサポート施設の登録店があり、市内に今現在何百とあるのでこちらの方にも声をかけてもう少し幅広いお店、施設に食育に関しての取組んでいる状況を確認させていただく。

(委員)

愛知県の野菜の摂取量が全国最下位の事実には驚かされました。渥美半島、知多半島、岡崎市も含め野菜の栽培は盛んなエリアが多いのになぜかと正直なところである。最後の方に岡崎市産を意識して購入している人の割合が中間評価で6.0%、目標値が15%以上とあるが、この目標値に2年間で上げるというのはかなり至難の業ではないか。どのような経緯で15%という数値がでたのか。

(事務局)

岡崎市産がよいという比率が下がってきているということについて、22年度のころはもう少し上げようということで15%の目標値に伸ばしたが、愛知県の活動が活発なのか、愛知県産にシフトするという形で岡崎市産志向が下がったと思う。目標値については22年度に定めた数値はやはり目指そうということで後1年半であるが、上がるように市全体で努力していきたい。

(委員)

地元の野菜をいっぱい食べられるということは新鮮な野菜を食べられるということとイコールだと思うので応援したい。

(議長)

野菜の摂取量が低いということについてはどうか。

(事務局)

野菜の摂取量が低いということについて、アンケートをいろいろやっているがなぜ愛知県が低いのかという答えは直接的には語れないが、おそらく食文化が関係しているのではと思う。例えば日本1位は長野県で、長野県の食文化をみると野沢菜をお茶受け代わりに食べていることで押し上げているのではないかと。愛知県だと味噌煮込みうどんといってもネギが少し入っているくらいの野菜でしかないのではと思うがもう少し説明していきたいと思

う。

#### 4 議題

##### (1) 食育推進体制の見直しについて

事務局から説明

(議長)

食育推進体制の見直しについて、専門委員を設置して会議を行っていくという見直し案ですが、このような見直しで進めていきたいがどうか。

(委員)

専門委員というのは事務局方とか、その中の専門の方の出席でいいのか。

(事務局)

専門委員はその所属団体の取組を取りまとめて皆さんで協議していただくという立場なので食育を把握している実務担当者ということで、それが事務局の職員ということであればそれで良いです。

(議長)

事務局案、決定でよろしいか。

(委員)

異議なし。

(議長)

そのように進めさせていただく。

##### (2) 第3次岡崎市食育推進計画の策定について

事務局より説明

(委員)

岡崎の農産物のサラダ PR とあるが、先ほど長野県の方は野沢菜をよく食べると言っているが愛知県や岡崎では何を一番食べているかアンケートで出ているか。多いとか岡崎産で有名な野菜、キャベツを食べているとかほうれん草を食べているなどのアンケート結果はあるか。

(事務局)

そういったデータはない。JAさんは持ってないですか。

(委員)

岡崎の農産物という野菜は少ない。年中とれるというものは夏秋ナス、促成ナスなどナスくらいである。昔から米が主体の地域であり、果樹関係であると駒立などのぶどう、東部だと柿もある。昔は畜産も多かった。最近になって法性寺ねぎが岡崎産として推奨されている。他にもいろいろあるが岡崎市の産直施設でもなかなか生産者の高齢化から非常に産物が少ない。愛知県産という形の中で農協も販売させてもらっている。

(議長)

他に意見はありますか。第3次岡崎市食育推進計画の策定については事務

局案のとおり進めさせていただいて良いか。

(委員)

異議なし。

(議長)

そのように進めさせていただく。

(3) 岡崎市制 100 周年記念事業「食育メッセ」の開催について  
事務局より説明

(委員)

議題 2 のところでまめ吉の話があったが、まめ吉の“まめ”が“まめに動く”からきていることは知らなかった。初めて聞いたが昔からそうだったか。

(事務局)

そうです。

(委員)

初代から食育推進会議に携わっておきながら、私の勉強不足だから知らないのだと思うが多分みんな知らないのではないかと思う。まめ吉のまめのことを知らないくらい食育メッセについても、いろいろな 100 周年のイベントについても、市民やこういう団体を通じて早く期待感を寄せるように PR をもう少ししっかりやってほしい。私は 200 周年も生きているかもしれないが、普通の人には 100 周年しかなく 150 周年もおそらくない事だと思う。普通のイベントということだけでなく 100 年に 1 回のことなので、今くらいからもう少し盛り上がり、周知に力を入れて幅広く周知の方法を強固にさせていただきたい。

もう一点、食育メッセの説明にあったように、うちの団体は若干前からプレ的にお手伝いをさせていただいていて知っているが、7 月 1 日が式典で、2 日、3 日が食育メッセということであるが、1 日にせっきやくいろいろな市民や市外の方が集まるときに、食育メッセのにおいがちょっと少ないと感じているので 1 日にもう少し式典に見えた方にメッセの雰囲気を味わっていただけるような形をどこかでとれないかと思う。まったく式典とメッセが離れてしまっていくものではなくて、1 日から式典に来ていただいた方にもう少し食育メッセの何か感じていただけるようなことがあるといい。市役所は縦割りのなかで 1 日は違うセクションの方がやっているからということもあるかもしれないが、幕を取っ払って 1 日から少し、集まっていた方にも体感していただくようなことをもう少し幅広くできないかをお願いしたい。

(事務局)

検討段階ですので、意見を加えまして今後準備させていただきます。

まめ吉についてですが、登場の当初、実態はなくパンフレットにしか登場しないようなキャラクターだったが、ここ最近いよいよ実物が登場して積極的に

出ており、岡崎の応援キャラクター隊の一員に加えていただき、前面に押し立てていきたいと考えている。やっとうちも戦力が揃ってきたということで多少まめ吉を前に押し出す体制も整ってきたので、委員から指摘がありました PR 不足についても積極的に展開させて、一人でも多くの方に本物のまめ吉にふれていただきながら進めていきたい。

(委員)

まめに登場していただくように。

(委員)

岡崎栄養士会です。久々に食育メッセをやられるということで非常にいいことだと思います。前回の時も最後の方にこういう話があり、釈迦に説法のみたになるかと思いますが盛大にやろうとすると企業の方の商品の売り込み合戦になることが多いので、食育メッセという「食育」が入っていることなのでぜひ食育メッセの名前に恥じないように食品 PR でなく食育をみんなで考えるということを前面に押し出して勉強になるメッセを目指していただくとよいと思うし、我々も協力をしたいと思うのでよろしく願いいたします。

(委員)

食生活改善協議会です。ずっと食育メッセには参加していましたが、ここ 3 年くらいは参加していなかったのが久しぶりなのでどういうブースを作らせて頂こうか検討中なのですが、時期が 7 月ということで衛生面のこともあり食品を出すにはということでもいろいろ考えています。あとうちの団体は塩分計をもってよそのお宅に伺い、みそ汁の塩分を測定するということを積極的に行っている。そういうことも絡めて何かやれないかと検討しているのでよろしく願いいたします。

(事務局)

ご指摘のとおり、今までの食育メッセが JA まつりと一緒にやってきたので比較的気温的には恵まれていたのですが、7 月で湿度が高いという所で食品衛生対策は万全にやっていきたいと思っているのでご協力お願いします。かといって食品試食とか提供をそう規制しないようにやっていきたいと思っている。積極的にご参加をお願いいたします。

(委員)

100 周年で食育メッセということですが、100 年で終わりでなく、101 年 102 年とありますので、お願いですがそういう企画をずっと続けていただきたいとお願いしたいと思います。

(事務局)

食育メッセの継続というのはこの会議で前々から聞いてきたところですが、財政状況などあります。今回第 2 次食育推進計画の最終年度に実施し、計画は 5 年おきに策定させると思っていますので、その計画の集大成を示すようなイベントとして 5 年に 1 回は、ここまで大きなメッセはできないかもしれないがもう少し

し中規模なメッセができればと、事務局としては予算の獲得に努力したいと思っている。

(議長)

議題になっております市制 100 周年記念事業食育メッセの詳細につきましては今後皆様方のご意見ご協力をいただきながら、詳細を詰めていくということになります。ここにお集まりの皆様方には積極的なご出展等ご協力のほどお願いしたいと思います。

事務局からの議題の提示は以上です。何かその他、ご意見等がありましたらお願いいたします。なければ事務局からお願いいたします。

(事務局)

ご審議ありがとうございました。専門委員の設置に伴いまして、この後事務局の方に各団体に委員の選出依頼をさせていただきます。選出依頼をいただいた後その所属団体の取組みや調査をお願いする予定です。第 1 回の専門員会の開催は来年 3 月の中旬以降に予定しています。次回の食育推進会議は専門委員を中心に第 3 次計画を進めていくので最終の平成 29 年 3 月に第 3 次計画の決定を議題といたしまして開催させていただきたいと考えています。

(議長)

協議事項は以上で終了です。

－閉会－